



社会教育人材を対象とした 継続的な学習機会の提供について

北海道立生涯学習推進センター





- 1 当センターが実施している研修事業について
- 2 研修事業のポイント
- 3 北海道社会教育主事会協議会と連携した研修事業について
- 4 社会教育主事講習受講者の声・感想
- 5 社会教育主事講習を軸とした研修事業について
- 6 今後について



北海道立生涯学習推進センター

基本方針

- 本道における生涯学習振興の拠点として、市町村や高等教育機関及び産業界と連携を図りながら、社会の進展や地域の要請にこたえる事業を総合的に行い、道民のさまざまな学習が促され、それらの活動が豊かに展開されるよう支援する。

機能

(1) 調査研究

生涯学習の推進に関する調査研究を行うとともに、その成果の普及に努める。
また、生涯学習に関する研究資料の収集及び保存に努める。

(2) 指導者の養成・研修

生涯学習を推進する指導者の養成を行うとともに、生涯学習関係職員等の資質向上を図るため、各種研修を行う。

(3) 学習情報の提供・相談

生涯学習に関する情報の収集及び提供を行うとともに、各種相談に応じる。
また、家庭教育支援及び市町村行政機関関係者等への支援を行う。

(4) 学習機会の提供

新しい北海道を創造する人づくり・地域づくりに関する学習機会の提供を行う。

(5) 教育メディアの利用促進

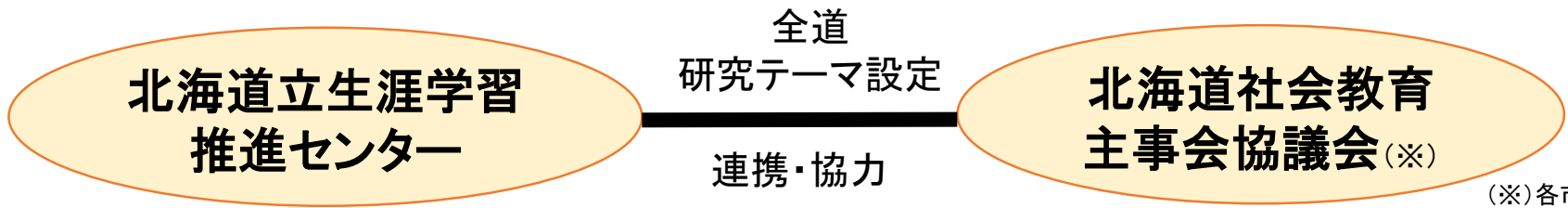
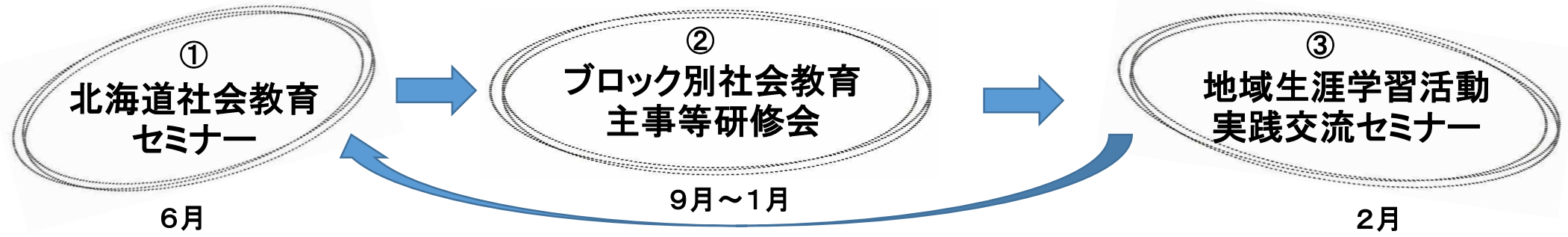
視聴覚教材の収集・整備・貸出しを行い、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援する。



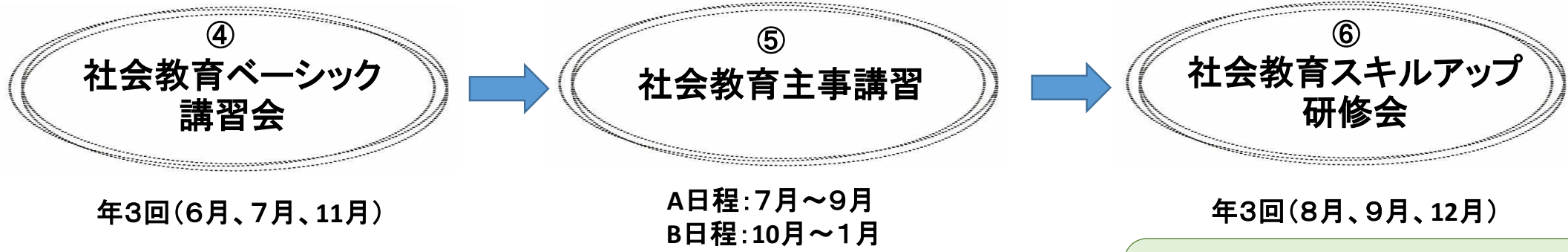
(写真)北海道立生涯学習推進センター
※道民活動センタービル「かでる2・7」8階



北海道社会教育主事会協議会との連携



(※)各市町村の社会教育関係職員で構成された任意団体。教育局が14局あることから、社会教育主事会は14に分かれている。



社会教育主事講習を軸とした研修



研修事業のポイント



北海道社会教育主事会協議会との連携



社会教育主事講習を軸とした研修機会の設定



北海道社会教育主事会協議会との連携

年度	期間	研究テーマ
2011(H23)	4年	新しい公共の担い手を育む社会教育行政の在り方 ～生涯学習に関する事業の連携・ネットワーク化について～
2012(H24)		
2013(H25)		
2014(H26)		
2015(H27)	2年	人口減少問題に対応した社会教育行政の在り方 ～行政間連携と地域住民との協働に向けた方策について～
2016(H28)		
2017(H29)	2年	地方創生の時代における社会教育行政の在り方 ～学びと活動の循環を促すための方策について～
2018(H30)		
2019(R1)	4年	地域の担い手育成に向けた行政と住民の連携・協働 ～災害に負けない地域コミュニティの形成～
2020(R2)		
2021(R3)		
2022(R4)		
2023(R5)～	5年	持続可能な社会の実現に向け、地域の可能性を引き出す学びをつくる社会教育のあり方 ～(各管内主事会ごとに設定)～



北海道社会教育主事会協議会との連携

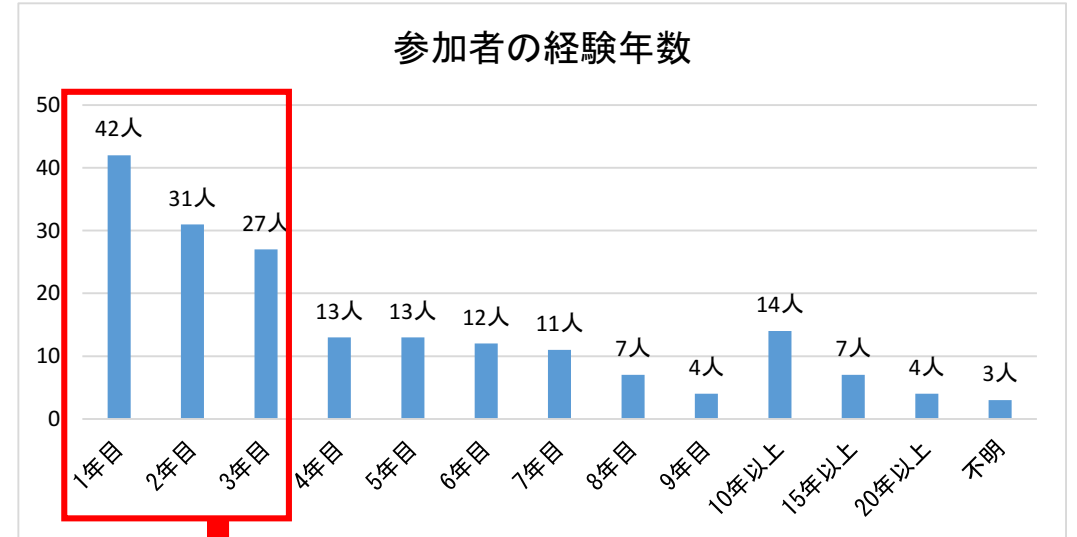
令和5年度北海道社会教育セミナー

趣 旨： 地域づくりや人づくりを推進する生涯学習・社会教育の中核を担う社会教育主事等の専門性を高めるとともに、関係する行政職員(生涯学習関連施設を含む)や社会教育委員等各種委員、社会教育関係団体関係者等が一堂に会して、地域の生涯学習・社会教育を推進する上での課題とその解決に向けた方策について理解を図る。

日 時：令和5年6月1日(木)10:00～17:00
令和5年6月2日(金) 9:30～12:00

場 所：道民活動センタービル「かでの2・7」

参加者：187名 116市町村/179市町村



基礎講座



研究協議





北海道社会教育主事会協議会との連携

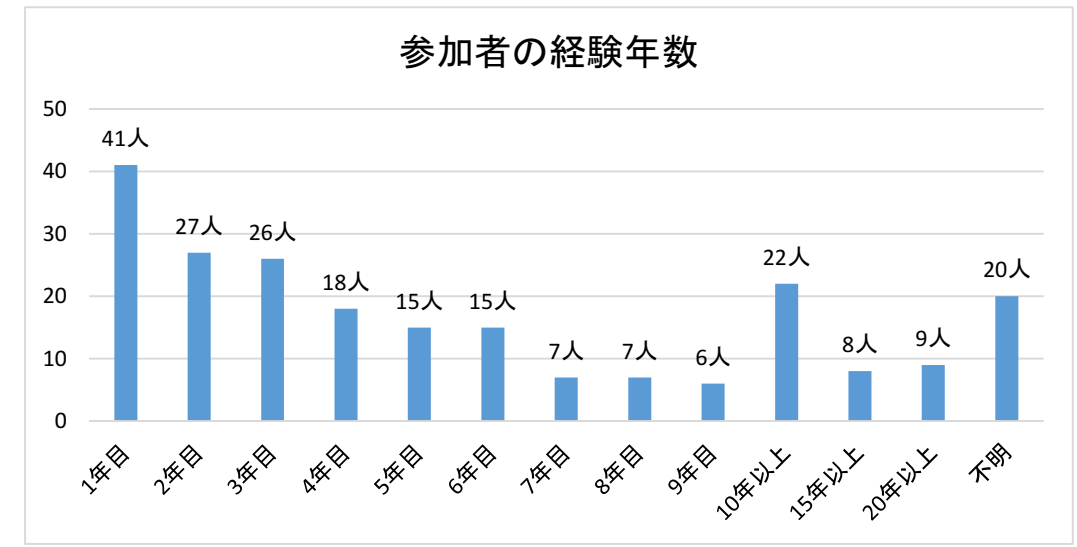
令和4年度 地域生涯学習活動実践交流セミナー

趣 旨： 北海道における生涯学習活動の一層の推進を図るため、実践事例の交流等を通して、生涯学習推進上の課題解決の糸口を探る。

日 時：令和5年2月 9日(木) 9:50～17:00
令和5年2月10日(金) 9:30～12:00

場 所：道民活動センタービル「かでの2・7」

参加者：221名 95市町村/179市町村



事例発表



全体交流

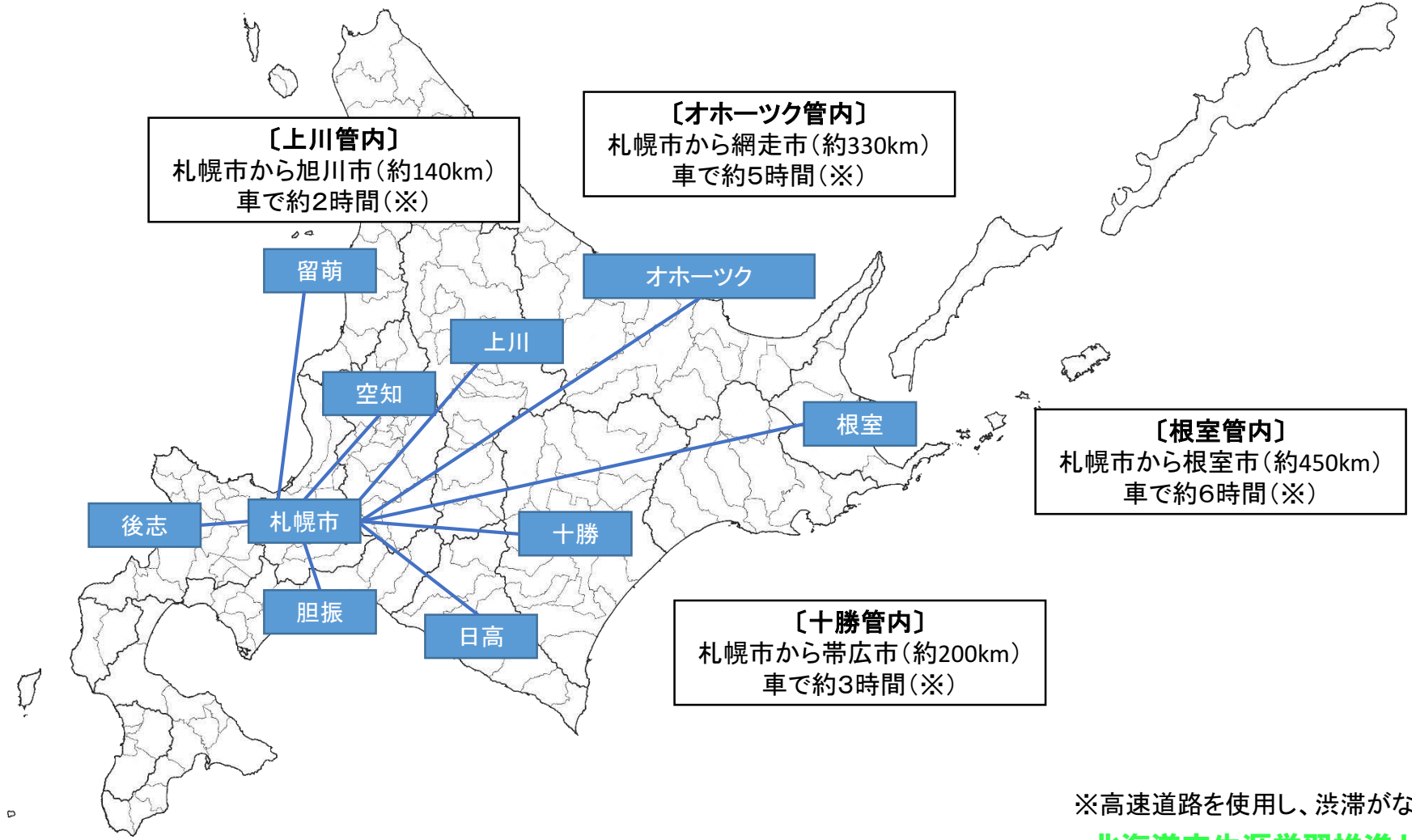




社会教育主事講習を軸とした研修機会の設定について

〔受講者数〕

管内	R5
空知	4名
石狩	32名
後志	7名
胆振	5名
日高	4名
渡島	9名
檜山	2名
上川	16名
留萌	1名
宗谷	0名
オホーツク	10名
十勝	26名
釧路	6名
根室	4名



※高速道路を使用し、渋滞がない場合



社会教育主事講習を軸とした研修機会の設定について

受講者の声・意見

〔内容に関すること〕

- ファシリテーションに関する内容。実践により、学びを深める場があるとよい。
- 社会教育に関わる法律や情報の更新などについて学びたい。
- 学習プログラムの組み立て方の基礎。
- 様々な地域の事例を知りたい。受講者同士の実践を交流する場もほしい。

〔実施方法に関すること〕

- 対面での講習ではなかったので、対面で交流できる研修だと嬉しい。
- オンライン開催であれば、自然に活用術も学ぶことができるため、オンライン受講ができる研修を望む。



社会教育主事講習を軸とした研修機会の設定について

令和5年度社会教育ベーシック講習会

〔第1回〕

「社会教育法について学ぶ
～社会教育法第23条をあらためて考える～」

日 時: 令和5年6月 14日(水) 14:00～16:10
参加者: 47名

〔第2回〕

「地域学校協働活動について学ぶ
～道内の事例から考える～」

日 時: 令和5年7月31日(月) 14:00～16:00
参加者: 55名

〔第3回〕

「子ども向け事業の企画・運営について学ぶ
～子どもにとっての『体験』って?～」

日 時: 令和5年11月17日(金) 14:00～16:15
参加者: 15名



オンライン開催



社会教育主事講習を軸とした研修機会の設定について

令和5年度社会教育スキルアップ研修会

〔第1回〕

「地域におけるスポーツの推進
～生涯にわたりスポーツに親しむために～」

日 時: 令和5年8月22日(火) 13:30～16:30
参加者: 10名

〔第2回〕

「チームで解く『気候変動のミステリー』」
→ファシリテーション研修

日 時: 令和5年9月8日(金) 13:50～16:40
参加者: 9名

〔第3回〕

「参加者がなぜか動きたくなるテクニック
～コミトレの効果から～」

日 時: 令和5年12月14日(木) 14:30～16:45
参加者: 13名



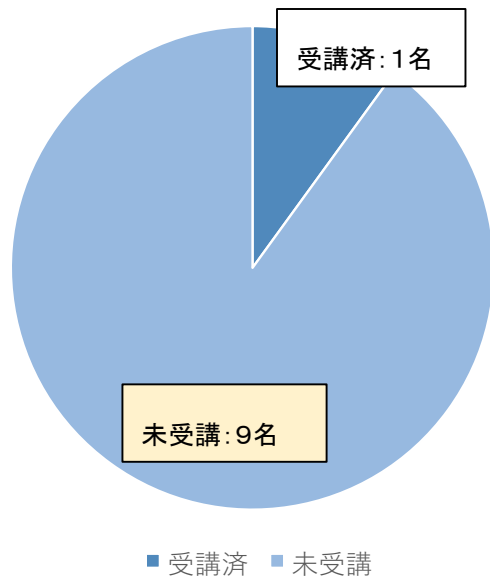
集合型開催



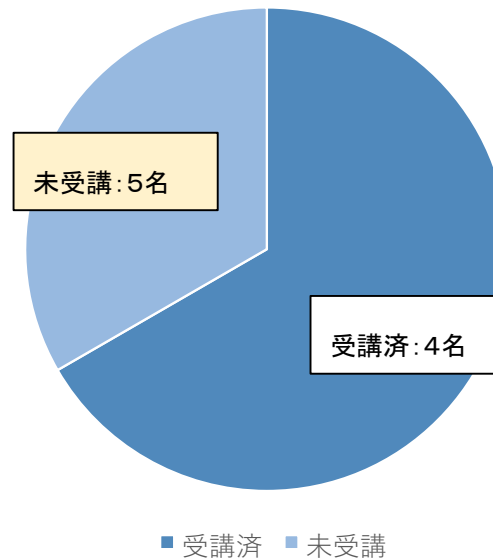
社会教育主事講習を軸とした研修機会の設定について

社会教育主事講習受講の有無～社会教育スキルアップ研修会

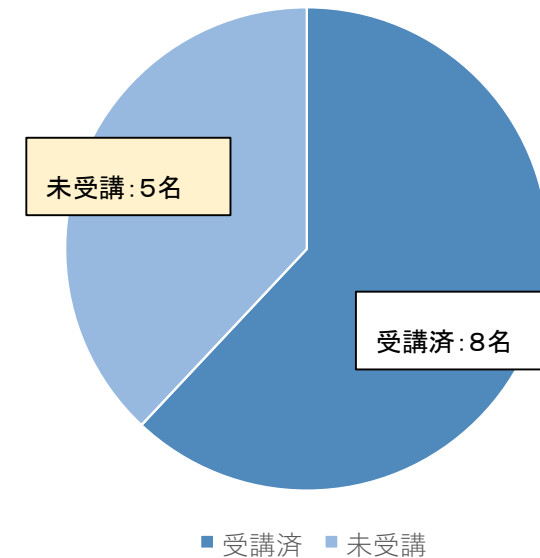
〔第1回〕



〔第2回〕



〔第3回〕



→社会教育主事講習を受講した方の参加は多くない。



今後について

- 社会教育主事講習における学びと受講前後の学びの接続性を重視
全ての社会教育人材に必要な内容を「社会教育主事講習」で学んだ上で、さらに能力を高めたり、知見を深める学びの場を意図的に設定。
- 「社会教育主事向け」、「社会教育士向け」と対象を絞った研修の展開
「地域全体の学びのオーガナイザー」として社会教育の振興の中核を担う「社会教育主事」と、「専門性を様々な場に活かす学びのオーガナイザー」として各々の専門性と社会教育の知見を生かして、それぞれの分野を活性化させたり、その意義を深めたりする「社会教育士」のニーズに応じた多様な研修機会の確保。
- 多様で特色ある受講形態の促進
受講者のライフスタイルやニーズに応じた研修の機会を設定することにより、受講者自身が受講形態や学びたい内容を選択可能。

→ 社会教育人材の資質の向上を図り、活躍を促進。